



小 論 文

(120分)

人 間 文 化 学 部

地域文化学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は3学科共通です。
3. 問題は2題で、7ページあります。
4. 解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがあります。
6. 解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

問題 1 次の文章は、ブレイディみかこ著『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』の「4 スクール・ポリティクス」の一部と、その内容を理解しやすくするためにこの文章の背景を記したものである。これらを読んで、後の問い(問1, 2)に答えよ。

文章の背景

以下は、福岡県出身で、アイルランド人と結婚した著者と、夫婦の間に生まれた「息子」との会話である。一家は、イギリスの地方都市で、住民間の経済格差が顕著な地域に住んでいる。「息子」は、かつてカトリック系の小学校に通っていたが、中学では白人労働者階級の子どもたちが多く通う学校に通っている。

会話には、「息子」の2人の友人が出てくる。ティムは、地元生まれ地元育ちの白人だが、労働者階級家庭出身で、家庭の経済状態は悪い。他方、ダニエルはハンガリー移民(注1)だが親がレストラン経営で成功し裕福である。ダニエルは父親のアジア人に対する差別的態度を見て育った。(文章の背景はここまで。以下、本文に入る。)

ブレイディみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（新潮社、2019年）を一部改変

(注1) ハンガリー移民…イギリスでは、第二次世界大戦後、東欧から移民を受け入れた。

(注2) チャヴ…「下層民」を示すスラング。

(注3) フリー・ミール制度…生活保護や失業保険を受給している家庭の子どもが、無料で給食を食べることができる制度。

問1 「息子」が中学校に入り、多様性について悩み出したのはどのような理由からか。本文の内容をふまえて、300字以内で述べよ。

問2 本文には、「多様性はよいこと」と書かれているが、その一方で「多様性があるとややこしくなる」とも書かれている。つまり、「多様性」は尊重すべきだが、実現には困難が伴うと述べられているのである。このように多様性が尊重されつつも実現には困難が伴うということについて、あなたが知っている「多様性」の具体例を挙げて、それがどのように尊重されつつも実現に困難が伴っているのかを説明せよ。なお、本文では国籍や民族性が多様性の具体例として述べられているが、それに限らない。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。

問題 2 次の文章は、佐藤卓己著『流言のメディア史』の「おわりにかえて」の一部である。これを読んで、後の問い(問1, 2)に答えよ。

佐藤卓己『流言のメディア史』(岩波書店, 2019年)を一部改変

(注1) デフォルト…初期設定状態のこと。

(注2) ゲートキーパー…新聞・放送などで、ニュースや記事の取捨選択をする担当者。

(注3) アルゴリズム…コンピューターを動かしてある特定の問題の答えを得る手続きを表現したものの。

(注4) ポスト真実…世論の形成において、客観的事実よりも感情的・個人的な意見のほうがより強い影響力をもつこと。受け入れがたい真実よりも個人の信念に合う虚偽が選択される状況をいう。

問1 「AI駆動の『真実の時代』」において「情報社会から情動社会への変化」が加速していくと考えられるのはなぜか、本文の内容をふまえて、150字以内で要約せよ。

問2 本文で著者は、「AI駆動の『真実の時代』」や「AI制御の情報空間」において、「あいまいさ」こそが人間の最後の拠り所であり、「あいまい情報に耐える力」が求められると述べている。本文から読み取れるこのような著者の見解をふまえて想起される具体例をとりあげて、具体例についてのあなたの考えを述べよ。課題文にもいくつか具体例が言及されているが、それらと関連していても、していなくてもどちらでも構わない。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。